

電気シンサン フイリピンでコイル

TMPと提携、年産100万個

サンシン電気（東京
都練馬区、石井宏宗社
長、03・5987・
5511）は、201
5年内にフィリピン・
セブ島の工場（写真）
でコイルの製造を始め

る。すでに特約店契約
を結んでいるTMP
（神奈川県大和市、佐
藤勉社長、046・2
60・6788）から
ノウハウを学び、製造
を請け負う。年間10

0万個の生産を見込
む。手間のかかるコイ
ル生産を、人件費の割
安なフィリピンで手が
ける。コスト競争力を高
める。
商工中金の「グロー

バルニッチトップ支援
貸付制度」を活用して
5000万円を調達し
た。この資金をコイル
の生産設備に投じ、ラ
インの準備を進めてい
る。敷地面積は250
0平方呎、延べ床面積
は2150平方呎。現
在は従業員80人だが、
生産量に応じて人員を
増やす。



セブ工場ではこれま
で、デジタルカメラな
どに使うキセノン管を
年間1000万〜15
00万個程度製造して
いた。同社はコイルに
関して販売のみを行っ
ており、手作業による
工程の多いコイル製造
のノウハウを学ぶ必要
があった。そこでコイ
ルメーカーであるTM
Pと提携し、生産を始
める。